

令和7年度 第2回文化財保護委員会 会議録

開催日時	令和8年2月4日 水曜日 13時30分から14時30分まで
開催場所	二宮町生涯学習センターラディアン ミーティングルーム1
出席者	島崎直人委員長、古宮雅明副委員長、 井上太郎委員、宮原俊一委員、細井守委員、和田智司教育長
事務局	松本教育部長、山下生涯学習課長、二見生涯学習班長、 石坂副主幹、中山会計年度任用職員
傍聴者	なし

1. 開会

2. 教育長あいさつ

3. 委員長あいさつ

4. 議題

(1) 令和7年度文化財保護関係事業及び予算の執行状況について
事務局より資料に基づいて説明【資料1】

(委員)

二宮高校相模人形部の2人の部員は、どこかと一緒に練習をすることはできないのか。平塚などでも地域でやっていると思うが、実際に自分たちの舞台でなくても経験を積む機会があるとよいと思う。

(事務局)

小田原の下中座が講師になっているので、連携をする場合は、まずそこになると思う。相模人形は、1体を動かすのに3人必要なので、学校からは部としての活動が難しいと聞いている。

(委員)

以前、地域の通いの場で、地域の人が二宮高校の生徒さんと交流を持ちたいということになり、相模人形部が来てくれた。その頃は部員も5人くらいで、下中座が全面的にバックアップしてくれて、活動も盛り上がっていた。だがコロナでそのような交流が中断し、部員も減ってしまった。

(委員)

二宮高校の相模人形部は、伝統もあるので、ぜひ継続してもらいたい。

(委員)

二宮町には埋蔵文化財に興味のある方が多い。町歩きをしながら見ることができる横穴墓などもあるので、文化財への理解を深めるために一層情報発信に努めてほしい。

(2) 新庁舎建設予定地内の発掘調査について

スライドにて発掘調査の状況を説明

(委員)

果樹公園には、そこに園芸試験場があった頃からの果樹が残っていたと思うが、それらはどうなったか。

(事務局)

神奈川県指定天然記念物のナシ・モモ原木群のある場所は、新庁舎建設予定地ではないので、そのまま保存されている。

(委員)

発掘調査で園芸試験場が埋めたとされる土管が出土したと聞いたが、それはいつ頃のものか。明治時代の農事試験場の頃まで遡るなら、文化財としての価値があるのではないか。

(事務局)

発掘担当の事業者が、出土した土管の一部を持ち帰り、年代を調べている。報告書で明らかになると思う。

(委員)

その事業者は、これまで町で発掘をした実績はあるか。また、その事業者に決まった経緯は、どのようなものか。

(事務局)

町では、最近大きな発掘調査を行っていないので、その事業者に委託したことはないが、同社は神奈川県内で発掘調査実績があり、入札で決まった。

(委員)

包蔵地であるこの土地に、新庁舎を建てることは、問題ないのか。

(事務局)

発掘調査をし、記録保存という形で遺跡の情報が残されるため、建設に問題はない。

(3) その他

事務局より旧山川邸が令和7年8月6日付けで正式に国登録有形文化財として官報に掲載されたことを報告。

5. 閉会